ふるさとを愛し、地域や世界とつながる大宮っ子

大宮小学校の子ども達は、自然の豊かさや地域の方々の優しさにふれながら、成長しています。

地域のことをたくさん学び、香北を好きになることが、他の地域やそこに暮らす人々の思いを理解することにもつながります。

これからも、地域のこと、そして、世界のことを考える教育を大切にしていきます。

【１年生】
初めての『愛あいふれあい祭り』、昔遊び、指あみ、ペタンク、韮生太鼓などの体験を通して、地域の方々とふれ合いました。

【２年生】
ユニット学習(※)で、町探検に行きました。町内にある神社のご神木を見て、「ここまで大きくなるのに何年かかったんだろう」と、驚いていました。

【３年生】
ユニット学習(※)で、地域の方々の仕事に対する“こだわり”を学び、自分と地域とのつながりを考えました。

【４年生】
ＪＡ土佐香美女性部の皆さんにご協力いただいて、みそ作りを体験しました。できたみそは、来年、給食で使用したり、バザーで販売します。

【５年生】
本田集落協定の皆さんにご協力いただいて、米作りを行いました。代かきから田植え、稲刈りまで体験し、米作りの苦労や喜びを感じることができました。

【６年生】
ユニット学習(※)で『多文化共生』について学びました。韓国、アメリカ、台湾、シンガポール、ベトナムの方々から、各国の文化や日本に来て感じたことなどについてお話を聞き、意見を交換しました。

※ユニット学習とは、国際バカロレアのプログラムを学ぶ時間です。

国際バカロレア候補校 香北中学校

コミュニティープロジェクト

本校では、３年生ですべての学びの集大成となるコミュニティープロジェクト(以下「ＣＰ」)に取り組んでいます。ＣＰは国際バカロレア教育ＭＹＰ（中等教育プログラム）の最終学年に求められる必須の学習です。１・２年生で身につけた**探究の方法**を活用して、生徒自身の関心事を起点にプロジェクトを立ち上げて取り組みます。

今年度の３年生は７つのプロジェクト（下表）を立ち上げ、１年間取り組んできました。

ＣＰ発表会

１年間の学びの成果を自分の言葉で発信するための発表会です。地域の方・保護者の方にも、生徒たちの探究的な学びの様子をより多く知っていただくために、ブース発表と全体発表の二本立てで行いました。

◆ブース発表

１・２年生も含め、今年度取り組んできたプロジェクト学習について発表しました。保護者や地域の方も、熱心に聞き入っていました。発表後の質疑応答も活発に行われ、今後の課題もたくさん発見でき、たいへん有意義な時間となりました。

◆全体発表

各学年の代表者が発表を行いました。

１年生『Dream CD Shop』、２年生『初心者の大冒険』、３年生『独居高齢者のゴミ出し』のテーマで、将来の夢や身近に起こっている問題を取り上げ、根拠を持って発表をしました。

◆講評

最後に、白川景子教育長から、励ましの言葉や今後の改善点を含めて香北中学校が、さらに質の高い国際バカロレア教育に取り組んでいけるよう、講評がありました。

プロジェクトのテーマ	概　　要
世界の貧困問題に一石を	貧困問題の現状を周知し、寄付システムの構築を目指しました
地域貢献～川上音頭を通して～	３０年前まで踊られていた川上音頭の復活を目指しました
SNSを利用した情報発信	香北中・香北町の魅力をSNSで発信できるシステムの構築を目指しました
地域貢献～フリーマーケットを通して～	美良布商店街でフリーマーケットを開催し、活性化することを目指しました
不登校について	不登校生徒の自尊心に注目し、周りの人のサポートを促すことを目指しました
若者の政治への関心を高める	周辺諸国の政治問題を若年層に分かりやすく発信することを目指しました
独居高齢者のゴミ出し問題	町内の独居高齢者へのサポートを考え、実行することを目指しました